

令和9年度福島県立高等学校入学選抜における選抜方法

【調査票】

学校番号	学 校 名	課 程
1 3	福島県立二本松実業高等学校	全日制

アドミッション・ポリシー

本校で学びたいという強い意志を持ち、誠実かつ意欲的に自らを磨き高めていこうとする以下のような生徒を求めます。

- 工業・家庭の専門分野における学習に興味・関心があり、実践的な知識・技術の習得に意欲的に取り組む生徒。
- 高い規範意識を持ち、基本的な生活習慣が確立していることに加え、他者を思いやり、協力して行動しようとする生徒。
- 部活動、生徒会活動、ボランティア活動などに積極的に取り組み、目標に向かって粘り強くやり抜く、向上心を持って学び続ける生徒。

【前期選抜】

特色選抜

大学科 小学科	募 集 定員枠	志願してほしい生徒像
工業科 家庭科 各科共通		本校は、地域産業の中核を担う学び続ける人材の育成を目指している。志願者には、各学科・各科の要件を満たし、入学後は工業や家庭に関する知識及び技術の習得や資格の取得などに意欲的に取り組むことを望むとともに、次のような生徒を求めている。 中学校の部活動や学校外のクラブチーム等で熱心に取り組み、入学後も同じ競技・活動である下記の部活動に所属し、学業との両立を図りながら3年間継続して活動できる者。ただし、カヌーについては経験を問わず、すべての競技からの出願を可とする。 運動部： 野球(男) カヌー 剣道 卓球 バasketボール(男) ソフトテニス 陸上競技 柔道 サッカー(男) バドミントン 文化部： 吹奏楽 なお、各科の要件は以下のとおりである。
工業科 機械システム科	25% 程度	機械システム科では、広く工業技術や機械に関係する内容を学習する。また、工業技術の進展や諸問題に主体的に対応できる技術者の育成を目指しており、次のいずれかを満たす生徒を求めている。 ① 機械に強い興味・関心を持っている者。 ② ものづくりにあたって、計画・立案や設計に興味・関心を持っている者。 ③ ロボットなどコンピュータを搭載した機械の原理・構造・制御に興味・関心を持っている者。 ④ 高校卒業後、機械関係の企業に就職しようと考えている者。 ⑤ 高校卒業後、工業系の大学に進学を希望する者。

工業科 情報システム科	25% 程度	情報システム科では、電気・情報に関する基礎的な知識を学習する。また、2年次からはエレクトリック、コンピュータの2コースに分かれ、社会で活躍する技術者の育成を目指しており、次のいずれかを満たす生徒を求めている。 ① ICTなどの新技術を活用できる能力を身に付けたいと考えている者。 ② コンピュータを活用した技術に興味・関心があり、制御・ネットワーク技術を習得したいと考えている者。 ③ 電気工事・パワーエレクトロニクスに関する技術を習得したいと考えている者。 ④ 高校卒業後、電気・情報・製造関係の企業に就職しようと考えている者。 ⑤ 高校卒業後、工業系の大学に進学を希望する者。
工業科 都市システム科	25% 程度	都市システム科では、住みやすい快適で安全な都市づくりをするための土木技術を学習する。また、新しい技術に適應できる能力を備えた技術者の育成を目指しており、次のいずれかを満たす生徒を求めている。 ① 測量・設計や都市計画・都市開発・環境保全に興味・関心を持っている者。 ② 道路や橋などを造る土木技術者になりたいと考えている者。 ③ 高校卒業後、建設関係の企業に就職しようと考えている者、または土木職公務員を希望する者。 ④ 高校卒業後、工業系の大学に進学を希望する者。
家庭科 生活文化科	10% 程度	生活文化科では、衣食住生活や保育、福祉などに関する内容を学習する。また、地域の生活の問題や地域文化の継承に関心を持ち、地域や社会の生活の質の向上と発展に資する担い手の育成を目指しており、次のいずれかを満たす生徒を求めている。 ① 衣食住生活・保育・福祉などに強い興味・関心を持っている者。 ② 地域の生活産業に興味・関心を持ち、主体的に地域や社会の生活の質の向上と発展に意欲を持つ者。 ③ 高校卒業後、生活に関する産業の関連企業等に就職しようと考えている者。 ④ 高校卒業後、栄養・調理・保育・服飾・福祉などに関する分野、または教員養成校などへの進学を希望する者。

選 抜 資 料

学 力 検 査	特色選抜志願理由書	調 査 書	特 色 面 接	特 色 検 査	選抜資料の満点	備 考
5教科とする。 満点を250点とする。 (各科共通)	志望の動機および将来への抱負などを本人が記入する。 (各科共通)	「各教科の学習の記録」は135点満点、「特別活動の記録」および「その他の活動及び長所・特技等の記録」は105点満点とし、合計240点満点とする。 部活動や地域クラブ活動等の実績や取組内容などは総合的に評価し、点数化する。 (各科共通)	個人面接を実施する。 個人面接では、本校での学ぶ意欲や目的意識、自己表現する力をみる。 面接については、段階評価する。 (各科共通)	実技を実施する。 実技については、各種技能や基本的な身体能力をみる。実技については60点満点とする。 (各科共通)	全体の満点は、550点満点とする。 (各科共通)	

一般選抜

大学科 小学科	募集定員	選 抜 資 料			学力検査と調査書の成績の比重	備 考
		学 力 検 査	調 査 書	一 般 面 接		
工業科 機械システム科	(4 0)	5 教科とする。 満点を 250 点満点とする。	「各教科の学習の記録」は 195 点満点、「特別活動の記録」および「その他の活動及び長所・特技等の記録」は 55 点満点とし、合計 250 点満点とする。 部活動や地域クラブ活動等の実績や取組内容などは総合的に評価し、点数化する。	実施しない。	同等とする。	
工業科 情報システム科	(4 0)					
工業科 都市システム科	(4 0)					
家庭科 生活文化科	(4 0)					

【後期選抜】

大学科 小学科	選 抜 資 料			備 考
	調 査 書	面 接	小論文（又は作文）	
工業科 機械システム科 情報システム科 都市システム科 家庭科 生活文化科	「各教科の学習の記録」は 135 点満点、「特別活動の記録」及び「その他の活動及び長所・特技等の記録」は 65 点満点とし、合計 200 点満点とする。 部活動や地域クラブ活動等の実績や取組内容などは総合的に評価し、点数化する。	個人面接を実施する。 個人面接では、目的意識を確認するとともに、志願者自らの考えをまとめ適切に伝える力をみる。 面接については、段階評価する。	作文を実施する。 与えられたテーマについて、400 字程度にまとめる。 作文については、段階評価する。	